

企業に求められるESG対応（全体像）

組織・制度構築等の「土台」を形成し、「攻め」と「守り」双方の観点でのESG対応を行うことが、自社を取り巻くステークホルダーから求められています。

攻め

- 中長期ビジョン・目標およびKPIの策定
- ESG/SDGs起点の中期経営計画の策定
- ESGに係る機会の特定
- SDGs起点の新規事業開発

重要課題（マテリアリティ）の特定

- ESGに係るリスクの特定
- サプライチェーンにおけるリスク管理体制の構築
- 個別ESGリスクへの対応
- ESGデューデリジェンスの実施（※「攻め」の側面も有）

守り

土台

体制整備、制度構築（理念/行動規範/方針の整備 等）

具体的な取り組みイメージ

ESG対応では、「土台」の構築のほか、「重要課題の特定」を起点とした「攻め」と「守り」の両面についてそれぞれ一貫通貫で支援します。

